放課後キャンプサイト

- 思春期におけるサードプレイスの提案 -

Keywords

トー横 思春期 サードプレイス 児童養護 自立 都市

DZ20170 佐藤愛佳

1. はじめに

「トー横」を始めとした、若者たちのコミュニティが近年メディアで頻繁に取り上げられ、一般に知られるようになった。そこは売春、ドラッグ、暴力など犯罪の温床となっているとも指摘されているが、一方で若者たちは、家や学校での「居場所」を失い、更に社会から煙たがられながらも、自分たちの「居場所」、仲間を見つけ、懸命に毎日を生きているのではないか。そのような彼らの居場所を見つけることは、社会として取り組むべき課題なのではないだろうか。

自分自身、中学時代は、両親とは頻繁に喧嘩をし、学校生活もうまくいかず、思い悩んだ経験がある。そんなとき、私がよく行っていたのは近所に住む友人の家だった。過去の自分とトー横キッズたちには何か共通するものがあるのではないかと思い、子どもたちの逃げ場となる建築をつくりたいと考えた。

2. 研究背景

2.1 思春期のこころ

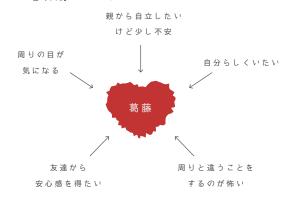


図1 思春期の葛藤

思春期では親から自立したいという欲求が高まりますが、一方では親元から離れることの不安も感じる。その不安に対応するために、仲間と一緒に行動することで仲間から安心感を得ようとする。つまり、仲間関係のトラブルはこの頃のこころの発達に大きな影響を及ぼす。1)

2.2 私の思春期を取り巻く環境

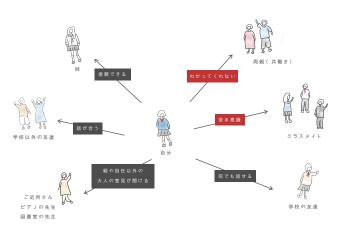


図2 私の思春期を取り巻く環境

当時、共働きによる親の不在、コミュニケーションの不調による家族の不仲、進学による信頼する姉との別れ、学校の同調圧力による孤独感などを理由に家や学校での自分の「居場所」がないと感じていた。

3. 研究目的

一時保護所に入っても、脱走し、「トー横」に戻って 来る子どもたちにとって必要なのは児童養護施設なのか。 子どもたちが自由に過ごせ、成長や自立を支える、家で も学校でもないもう一つの「居場所」を提供したい。

4. 敷地概要

4.1 ト一構

トー横は、新宿区歌舞伎町T0H0シネマズ横の広場を指し、そこに集まる中高生たちは自身を「トー横界隈」と名乗り、メディアは「トー横キッズ」と呼ぶ。

事の始まりは、2010年頃、SNSで「#自発ください」と ハッシュタグをつけて自撮り写真を投稿する中高生た ち、「自撮り界隈」がSNSに定着していったことだ。そこ で繋がった子たちが実際に会う際の待ち合わせ場所とし て新宿TOHOビル前が主流になったのが2018年頃である。

トー横が選ばれたのは、基本的には新宿駅の近くで、 アクセスしやすい場所だったことと、夜の仕事との親和 性が高かったことが理由として考えられる。24時から歌舞伎町のバーが開くので、その前に路上飲みで時間をつぶそうとしたのがトー横キッズの始まりだろう。²⁾

トー横に中高生たちが増えたきっかけはコロナ禍であった。親からの虐待、学内でのいじめを理由に家出をした子どもたちが行きついた先がトー横であった。

4.2 対象敷地

対象敷地は、新宿駅周辺から選定する。新宿駅は、多くの路線が通っているほか、「バスタ新宿」というバスターミナルもあり、都内近郊だけでなく地方からもアクセスしやすい。

実際、地方から「トー横」に訪れる子どももいるため、子どもたちの「居場所」として機能することが期待される。

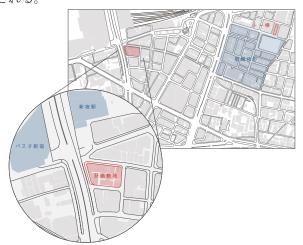


図3 敷地図

4.3 大都市、「新宿」の匿名性

人口の多さと多様性

大都市は人口が多様で、新宿は観光地や商業地域として知られており、国内外から多様な人々が訪れるため、 異なるバックグラウンドやライフスタイルを持つ多くの 人々が集まる。

人の流れの激しさ

多くの人が行き交い、個々の存在が相対的に薄れるため、 特定の個人が目立ちにくくなる。

5. 設計提案

5.1 プログラム

用途:ユースセンター

諸室:図書コーナー、食堂・キッチン、アトリエ、

音楽室、宿泊室、コート

敷地面積:600m2

5.2 コンセプト

「緩衝」

ユースセンターは、家庭や学校から孤立し、社会の厳 しさに直面する中高生たちにとって、安心とサポートを 提供する「社会の緩衝材」としての役割を果たす。

また、若者たちが社会的な圧力や困難な状況から一時 的に遠ざかり、自己発見と成長の機会を見つける場所と なるだろう。

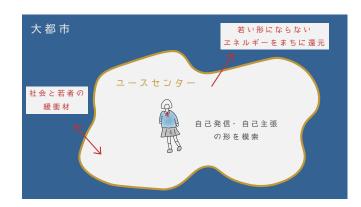
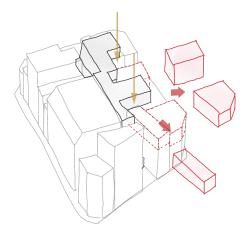


図4 コンセプト

5.3 設計手法



従来、都市の建築は、道路に面した面にしか開口部を 設けられなかった。そこで、道路から面を「セットバッ ク」したり、箱から「くり抜く」という操作をすること で、雑居ビルの密集地でも光と風を通すことを可能にす る

参考文献

- 1) e-ヘルスネット
- Real Sound 佐々木チワワが語る、SNS時代の歌舞伎町研究 トー横キッズ、ぴえん系、ホストたちを見つめて

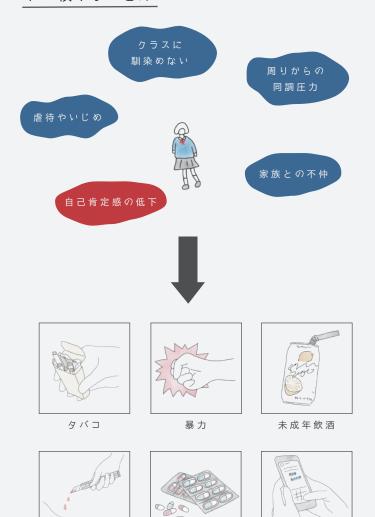
Background

思春期のこころ



思春期では親から自立したいという 欲求が高まりますが、一方では親元 から離れることの不安も感じる。そ の不安に対応するために、仲間と一 緒に行動することで仲間から安心感 を得ようとする。つまり、仲間関係 のトラブルはこの頃のこころの発達 に大きな影響を及ぼす。

トー横キッズとは



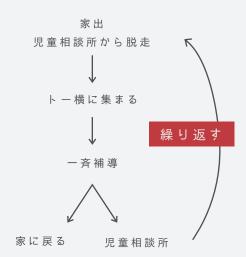
オーバードーズ

パパ活

自傷行為

Problem

追い出される若者



トー横キッズに代表される「都市部に流れ着いた家出少年少女」は、家や学校に居場所がないにも関わらず、「問題行動」を理由に補導され、家に追い返される。

補導した後の対応が十分ではない ため、また家出を繰り返し、根本的 解決に繋がっていない。

同じことの繰り返しでは、「トー 横」を始めとした居場所から追い出 された若者たちは、また別の場所に 若者のヱネルギーと社会の評価

未成年飲酒 オーバードーズ 暴力

=若き行動力

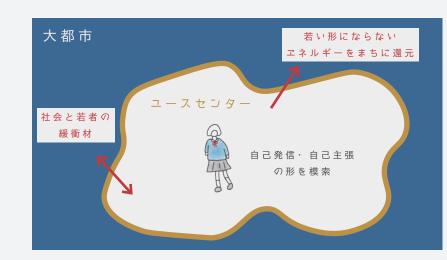
トー横キッズに代表される「居場所のない若者たち」は、居場所の無さの故に自己評価が低く、若き行動力を建設的な形で表現できない。そのエネルギーを形にする方向性わからず、飲酒・オーバードーズ・暴力といった非行に向かい、社

Proposal

大都市におけるユースセンターの提案

従来のユースセンターは地域との関わりが求められた。しかし、トー横に訪れる若者の多くが都心以外から訪れていて、新宿に馴染みのある子は少ない。また、 匿名性の高い大都市であるため地域性がほとんどみられない。

そこで、都市の中に、社会と若者の「緩衝材」となる施設を提案する。



プログラム ~自分の好きな空間を「選べる・つくれる」~



各諸室を「用途のない空間」で繋ぐ







らくがきのできる壁



一人になれる場所